

2016年リオ大会に学ぶ 大会成功のカギ

日本2020戦略室／公共経営・地域政策部 研究員

渡邊 倫

日本2020戦略室／研究開発部 主任研究員

本橋 直樹

南米初のオリンピック・パラリンピック競技大会



発表の全体像

1. 大会中の様子

～ 当社現地調査より

2. リオ大会「成功」の

エッセンスの抽出

3. 東京大会の成功に向けて

～ リオ大会に学ぶこと

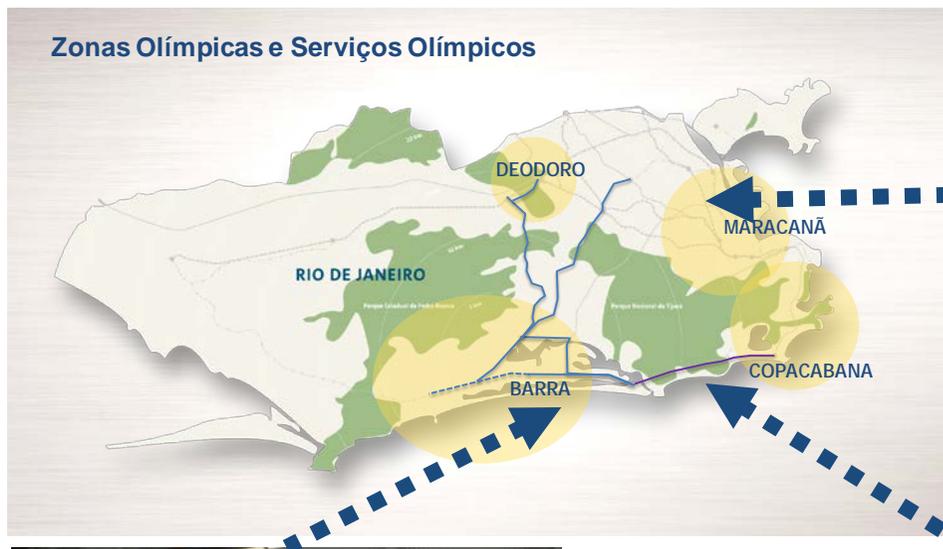
1. 現地視察の様子紹介

リオ市内の様子



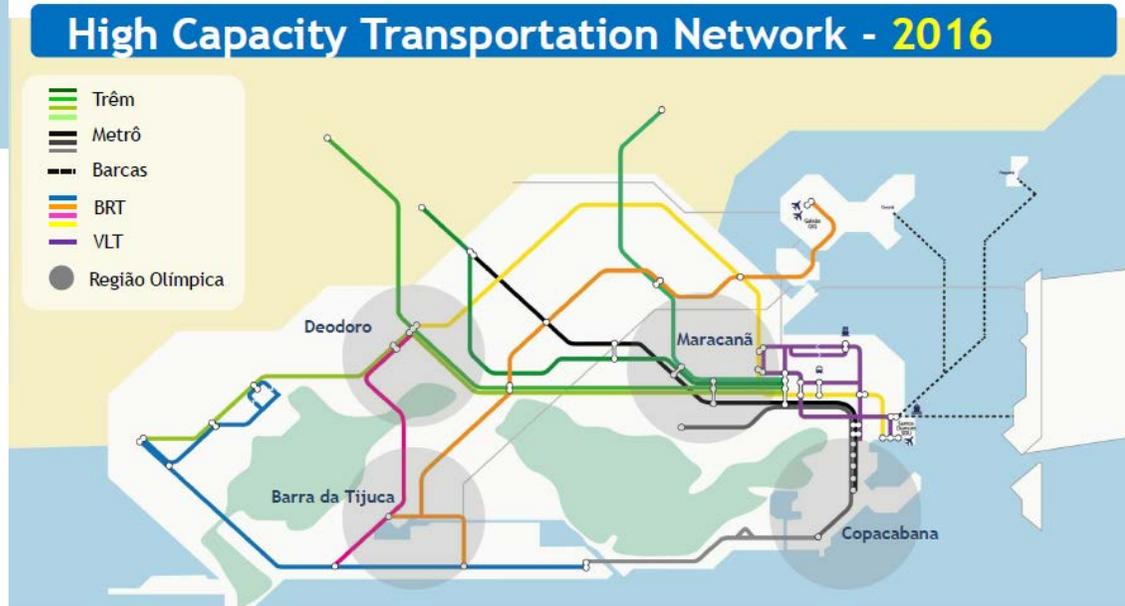
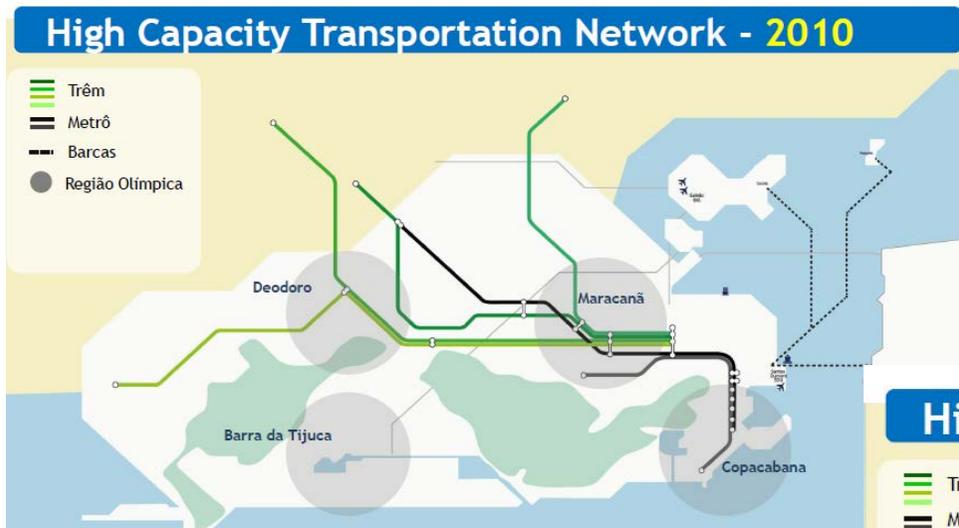
交通

- ◆会場間の移動には、地下鉄やBRTを使用
- ◆市内から会場への移動に要する所要時間は決して短くない(市内⇒バッハ会場で1時間程度)



交通

◆大会を契機にして、公共交通網を大幅に拡充



交通

◆最新式のVLT、市内中心部に多数設置されているシェアサイクル



多言語案内

◆市内に設置された案内版などは、主にポルトガル語及び英語の2言語で記載



競技会場の様子

◆パラリンピック競技大会の盛り上がりの様子(週末はチケット入手困難)



競技会場の様子

◆会場内の様子(バッハ会場、オリンピック・パーク)



競技会場の様子

◆大会関係施設には随所に仮設構造物が見られた



アクセシビリティ

◆ 競技会場内やその周辺におけるアクセシビリティ対応



ボランティア／スタッフの様子

◆ 競技会場内のボランティアの活動の様子



ボランティア／スタッフの様子

◆交通拠点におけるボランティアの活動の様子



港灣部の再開発

◆レガシーとしての港灣部の再開発



港灣部の再開発

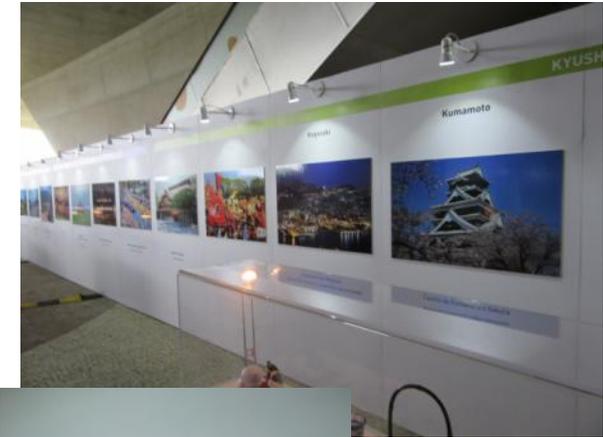


港灣部の再開発



東京大会に向けたプロモーション

◆ JAPAN HOUSEの様子



東京大会に向けたプロモーション

◆東京館の様子



2. リオ大会「成功」のエッセンス

リオ大会「成功」のエッセンス①

『取捨選択』

◆大会の成功に向け、大胆な対応策を展開

- ✓ コスト削減のため、競技会場等では仮設施設を多用
- ✓ 開会式当日は、リオ市長の権限で臨時休日を設定(市内の渋滞緩和が目的)
- ✓ 開会式の最寄り駅では、閉会式後に観客が殺到・滞留することによる混乱を避けるために改札を開放



リオ大会「成功」のエッセンス②

『連続性』

- ◆ 2007年パン・アメリカ大会から始まる、過去10年間の大規模イベント開催の実績を最大限に活用
- ◆ 経験を蓄積したスタッフの積極的な登用(EOMの事例)



資料)EOMへのヒアリング時に提供された資料より抜粋

リオ大会「成功」のエッセンス③

『ホスピタリティ』

◆大会の盛り上げにボランティアが大きな役割

- ✓ ボランティアをスタッフの不足を補うものとしてではなく、大会に+αの価値をもたらす存在として位置付け
- ✓ 一見すると供給過多のようにみえるが、その分ボランティア個人の余裕につながりっている。彼ら・彼女らが楽しむことで、大会全体の雰囲気良くなっている。



3. 東京大会の成功に向けて ～ リオ大会に学ぶこと ～

『取捨選択』

- ✓ 「成功」には“期待のコントロール”(Manage of Expectation)が重要
- ✓ 日本に対しては「行き届いた」(Well-organised)された大会運営への期待大

- ① 「きちんとした」 ≠ ルール通り、杓子定規
⇒ 状況に応じて、臨機応変な対処を行うための事前準備が大切
- ② 全てを完璧に行うのは不可能
⇒ 優先順位づけを明確に行い、必要に応じて取捨選択を

東京大会の成功に向けて ~リオ大会に学ぶこと~

『ホスピタリティ』

- ✓ 「成功」を創り出すプレイヤー： 選手、大会関係者、観客、市民
- ✓ 観客が感動を胸に家路につけるか
- ✓ 訪日観光客が良い思い出をもって帰国の途につけるか
- ✓ 開催者(大会関係者)と観客を繋ぐ人 — 大会ボランティア
- ✓ 訪日外国人と日本の諸々を繋ぐ人 — 普通の市民

「ホスピタリティ(おもてなし)」は、特定の人が特定の人に“頑張って”提供するものだけに限定されない。

⇒ オリンピック・パラリンピックは一世一代の「お祭り」
より多くの市民がホストとして、かつ自らも参加者として
「お祭り」への参加を！

『連続性』

- ✓ 大規模なイベントをいきなり完璧にこなすのは困難。
- ✓ 工夫と改善を重ねながら、より良いものを作り上げるのが日本人の得意技

RWC2019やプレイイベントを貴重な予行演習の場として最大限活用する

⇒ これらを組み込んだ取組スケジュールの策定・実行を！

ご静聴ありがとうございました

■ ご利用に際して

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、講演者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい

■ Notes in relation to use

- These materials have been developed based on a variety of data that we believe to be trustworthy; however, we make no guarantees as to the accuracy or completeness of the data
- Furthermore, these materials are developed based on the views of the presenter, and in no way represent the views of our company as a whole
- We take no responsibility for our customers' decisions, actions, or any results therefrom which are taken on the basis of these materials. We respectfully request that any use of these materials by you is based on your own judgements
- These materials have been developed by us and are protected by copyright law. In accordance with copyright law, if you cite these materials, please ensure that you indicate that the source of the materials is "Mitsubishi UFJ Research and Consulting"
- Permission from the author is required for any reproduction or duplication of these materials. Please contact us prior to doing so